

## 二重根

—— エゾヨモギ ——



有珠山の噴火によって噴出された火山灰は、付近の林地に降下して山林に被害を与えるとともに、林床の植生を枯らしてしまった。しかし翌年には、埋まった草本類が芽を吹き出し、3年目の調査では高基草本類をかき分けて登るのに難儀するほどであった。

このように素早い回復は、灰に埋まった茎から根を出す性質による。掘り出してみると、もともとの根の他に、以前には地上にあった茎からも根を出し、根の層は二層になっていた。このような二重根を出すのは、草本ではエゾヨモギ、アキタブキ、オオイタドリ、スギナなど、木本ではヤナギ類で認められた。

(造林科 菊沢喜八郎)